2.2 騒音

(1) 調査項目 調査の項目は、表 2.2-1 に示すとおりとした。

表 2.2-1 調査項目

調査項目			調査頻度	
道路交通騒音	等価騒音レベル(LAeq) 時間率騒音レベル(L5、L50、L95)	3地点	1 日間 (作業時間内)	

(2) 調査地点

調査地点は図 2.2-1 に示すとおりであり、三原、弦谷、光都の沿道 3 地点とした。

(3) 調査時期

供用開始1年目 H25.11.18 供用開始3年目 H27.10.5

(4) 調査結果 一覧は、表 2.2-2 に示す。

騒音レベル(LAeq)調査による一覧を示す。

調査の結果、供用開始1年目及び3年目のいずれの地点とも昼間の時間区分で環境保全目標及び予測値を下回る値であった。(三原地区は予測値データなし。)

また、供用開始 3 年目について、光都地区では 18 時~19 時の時間帯で予測値を 0.1 db 超えていた。

表 2.2-2 調査結果一覧

調査地点	騒音 レベル(LAeq)					
値	三原地区		弦谷地区		光都地区	
	供用1年目	供用3年目	供用1年目	供用3年目	供用1年目	供用3年目
平均值	5 3	5 3	67	64	63	62
最少	43.9	41.2	60.4	59.9	57.4	59.3
最大	59.8	58.1	69	67.3	65.3	64.1
予測値	_		68		64	
環境保全目標値	65		70		70	
アセス調査時	54		64		60	

2.3 振動

(1) 調査項目 調査の項目は、表 2.3·1 に示すとおりとした。

表 2.3-1 調査項目

調査項目			調査頻度		
道路交通振動	時間率振動レベル(L10、L50、L90)	3地点	1日間 (作業時間内)		

(2) 調査地点 「2.2 騒音」と同様とした。

(3) 調査時期 「2.2 騒音」と同様とした。

(4) 調査結果

一覧は、表 2.3-2 に示す。

すべての地区において、予測値並びに環境保全目標を下回る結果であった。

表 2.3-2 調査結果一覧

調査地点	時間率振動レベル(L10)					
	三原地区		弦谷地区		光都地区	
値	供用1年目	供用3年目	供用1年目	供用3年目	供用1年目	供用3年目
平均値	< 30	< 30	< 30	< 30	< 30	< 30
最少	< 30	< 30	< 30	< 30	< 30	< 30
最大	< 30	< 30	33	32	< 30	< 30
予測値	_		34		35	
環境保全目標値	55		55		55	
アセス調査時	< 30		< 30		< 30	